

令和4年 第2学年 美術科 年間指導計画(年間 35 時間)

目 標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ・感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 【教材】	評価規準 (評価方法)
4	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見通しをもつ。	
	1	【鑑賞／絵画】 遠近法の歴史	レオナルド・ダ・ヴィンチの作品を鑑賞し、その立体感や遠近感、作者の意図などを感じ取り、作品を味わう。  【作品】「モナリザ」「最後の晩餐」など	① 遠近法について基礎的な知識を身に付けている。(定期考査) ② 作品から表現の特徴や表現方法の違いを感じ取ることができる。(定期考査) ③ 西洋美術の表現に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。(授業の様子、提出状況)
5	6	【表現／絵画】 石神井公園の風景 ～光に気持ちを重ねて描く～	地域の身近な場である石神井公園をテーマとして、春の日差しとともにその風景を改めて見つめ、遠近感の構図や鉛筆、水彩着色の効果を考えながら表現する。  【教材】八切画用紙、アクリルガッシュなど	① 遠近感の表現方法や、アクリルガッシュ等用具の特性を理解し、工夫しながら表現できている。(作品・定期考査) ② 主題を基に遠近感や構図を工夫し、作品の構想を練っている。(アイデアスケッチ) ③ 風景画の表現に関心を持ち、活動に意欲的に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
6	1	1学期期末考査(6月)		
7	2	【表現／デザイン】 明るい選挙ポスター ～視覚で伝えるデザイン～  ※夏休みの宿題  ☆	ポスターの表現活動を通して、作品の目的や他者に伝えたいことを基に作品の構想を練り、材料や用具の扱いを工夫して表現する。  【材料】四切ケント紙、アクリルガッシュなど	① 制作手順や画面構成について理解し、文字の描き方や絵具の塗り方を工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 目的や見る人の気持ちを基に主題を生み出し、色彩や形の効果を生かして、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 目的や伝えたいことを基に表現する活動に関心を持ち、意欲的に表現に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)
	1	【鑑賞／彫刻】 彫刻の鑑賞 ～ロダンから始まる近代彫刻～	ロダンや船越桂などの彫刻作品を鑑賞し、色や形の特徴を感じ取り、自分なりの思いをもって、作品のよさや美しさを味わう。  【作品】ロダン、船越桂など	① 彫刻作品に関する基礎知識を身に付けている。(定期考査) ② 人体の動静、作者の意図や工夫などを、自分なりに感じ取っている。 (ワークシート、定期考査) ③ 彫刻作品に関心を持ち、積極的に活動に取り組もうとしている。(授業の様子、提出状況)
10	11	【表現／彫刻】 石神井中に潜むヨウセイ ～場所からイメージした形～	「石神井中に潜むヨウセイ」をテーマに、場所の特徴や場所への思いを基にイメージを膨らませて主題を生み出し、主題を基に形や色彩の効果を生かして表現の構想を練る。また、その構想を基に、粘土やヘラなどの扱いを工夫して立体作品を表現する。  【教材】石粉粘土、アルミ線、アルミ箔など	① 形や色彩などの表し方を理解し、表現したいイメージをもちながら意図に応じて粘土やヘラなどの生かし方などを考え、創意工夫して表現している。(作品・定期考査) ② 想像力を働かせて主題を生み出し、形や色彩の効果を生かして、心豊かに表現の構想を練っている。(作品、アイデアスケッチ) ③ 場所からイメージを膨らませて表現する活動に関心を持ち、意欲的に表現活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
	1	2学期期末考査(11月)		

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

12	2	【鑑賞／絵画】 ジャポニスム ～文化の出会いがもたらしたもの～ ★文化	東洋と西洋の芸術が互いに影響しあつた作品を鑑賞し、自分なりの考えを互いに話し合いながら、作品の見方や感じ方を広げ、作品のよさや美しさを味わう。  【作品】葛飾北斎、クリムトなど	① 日本と西洋の代表的な作品と、表現の特徴の違いについて理解している。(定期考査) ② 日本と西洋の表現の違いについて考えながら、それぞれの特徴やそれらが表すイメージを感じ取っている。(ワークシート) ③ 東洋と西洋のそれぞれの表現に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。 (授業の様子、提出状況)
1	6	【表現／デザイン】 日本の模様 ～伝統的なデザイン～ ★文化	日本独自の文化の中で発展し、良そうや美術工芸等に広く用いられてきた伝統的な和模様について理解を深め、模様の構想を練り、表現する。  【作品】A4 ケント紙	① 模様の構成について理解し、用具・材料の扱いを工夫して表現している。(作品) ② 和模様の構成やモチーフの特徴を理解し、自分なりの和模様の構成を練っている。(アイデアスケッチ) ③ 現代にもつながる日本の伝統模様に関心をもち、学習活動に意欲的に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)
◆	1	3学期期末考査(2月)		
3	2	【表現／絵画】 立体的なイラスト ～透視図法～	透視図法を学習し、様々なイメージを表現するための技能を身に付ける。  【教材】ワークシート、定規など	① 透視図法による遠近感の表現を理解し、課題に応じて作図することができる。(定期考査) ③ 遠近感の表現に関心をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。(授業の様子)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

### 評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
評価の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	・制作過程、道具の使い方 ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・作品 ・制作過程、アイデアスケッチ ・定期考査	・授業の様子 ・持ち物、準備 ・作品等提出状況

### 学習のアドバイス

#### 【授業】

- ① 作品や用具などの準備を素早く行おう。忘れ物には注意しよう。
- ② 活動中に私語をせず、集中して活動に取り組もう。(相談が必要な場合は、私語とみなさない。)
- ③ 作品や用具などの片付けを素早くし、その日の活動を振り返ろう。
- ④ 必要に応じて表現のための資料を家庭等で準備しよう。
- ⑤ 表現活動のペースを調整し、適切な進度を保とう。(遅ければ家庭等で進め、早ければ工夫できる点を探そう。)
- ⑥ 提出物は、期限を守って提出しよう。

#### 【テスト勉強】

- ① 授業中に配布されたプリントをしっかりと確認しよう。
- ② 練習問題に取り組み、自分の理解度を確認しよう。分からないところはプリントで確認しよう。